

第25回

清川村子ども議会



2月20日、役場庁舎3階・議場で第25回清川村子ども議会が開催されました。

この子ども議会は、未来を担う子どもたちに行政や議会の仕組みを学んでもらい、村政や議会活動、村づくりに関心をもってもらうことを目的としています。

今回の子ども議会は、緑小学校の6年生20人が子ども議員となり、5班に分かれて村政に対するさまざまな提案などを投げかけました。

招集あいさつで岩澤村長は「昨年11月14日に「みんなで考える村づくり」をテーマに講話をし、皆さんに村に対する質問を考えていただいた。神聖な場である議場で開催する子ども議会、素晴らしいものとしたい。」と述べました。

皆さんからいただいた提案と、それに対する村の回答をご紹介します。

問 学校教育課 学校教育係

☎ (288) 1215

1班

宮ヶ瀬小学校を利用して
宿泊施設を作る！財政を豊かに！

Q 宮ヶ瀬小学校の跡地を利用して近隣の小学生や一般の人が楽しめるような宿泊施設をつくり、村の財政を豊かにしたいと考えます。

A 昨年の3月25日をもって休校となった宮ヶ瀬小学校ですが、その施設管理については、現在、宮ヶ瀬中学校で行っていて、施設点検などを休校前と変わらず実施し、災害時などにはいつでも避難所などとして使えるよう、適正な管理に努めています。

また、宮ヶ瀬中学校も少子化の影響で、将来的には休校となることが見込まれ、そうなった場合は教育委員会の管理となる予定ですが、宮ヶ瀬小・中学校は、災害時の避難対策として「指定緊急避難場所」および「指定避難所」に定めていて、宮ヶ瀬小学校には、災害時

の備蓄品として飲料水や食糧、日用品などを保管しています。

このようなことから、村としては、令和11年度に開校を目指している幼小中一貫校ができるまでは、宮ヶ瀬小・中学校を休校のまま残しておく考えのため、現時点では跡地利用の具体的な検討は進めていません。

ただし、村の財政を豊かにする取り組みとして、皆さんの素晴らしい提案を参考にさせていただき、清川村のあった学校施設の活用方法を検討していきます。



2班

幼小中一貫校に向けて

Q みんなが過ごしやすい、きれいな学校にするため、椅子や机を運びやすいプラスチック製の物にすることで、清掃の時間を短縮できると考えます。また全校の子どもたちが一緒に使える食堂や、星座に関する学習のためのプラネタリウムを設置してほしいです。ほかに、文化祭を全校の子どもたちみんなで行い、自主性や協調性を高められると考えています。

A 新しく建てる一貫校の施設や設備、備品については、現在、学校で使用している物で使えるものは、引き続き使いたいと考えていますが、SDGsやタイムパフォーマンスも考慮して、検討したいと考えています。また全校の子どもたちが、みんなと一緒に食べられる食堂、にぎや



かで楽しそうな様子が目に浮かびます。食事以外の時は大きな部屋として、他学年との交流の場に使うという発想は、良い提案だと思います。プラネタリウムの設置についても学校の特色になると思うので、併せて検討したいと思います。

文化祭を合同で行うことについては、幼・小・中で連携の輪が広がり、自主性や協調性を高めることにつながります。皆さんの提案を学校にも伝え、検討していきたいと思っています。

3班

好きな時間にいられる「子ども食堂広場」づくり

Q 小学校1年生から中学校3年生までが利用できるで、夏休みや冬休みなどの長期休暇中に利用できる場所として、昼ご飯を食べられたり、室内で遊べたりする「子ども食堂広場」をつくりたいです。一日ごとの利用額を払う制度にしたいと考えます。

A 夏休みや冬休みなどの長期休暇期間は、給食がありません。給食のない期間、家族の方が皆さんのお昼ご飯を用意してくれていると思うので、皆さんの提案は、家族の方に対してとても思いやりのあるものです。

「子ども食堂」は、全国的に展開がされてきていて、全国の公立中学校と同じくらいの数があります。子ども食堂のメリットは、安い金額で食事が取れること、誰かと一緒に食事ができる

こと、地域の人のつながりができることなどが考えられます。長期休暇中は、友達と会う機会が少なくなることや、1人で家にいる時間が増える人もいるので、一緒に食事をし、一緒に遊べる場所があると、皆さんも楽しい時間を過ごせるし、家族の方も居場所が分かり、安心すると思います。

村で夏休みなどの長期休暇期間中、毎日開いている子ども食堂を作ろうとする場合、食事を作る人や衛生管理をするための人の確保、施設の管理をする人の確保などが必要になります。そして、利用する方から1日ごとに払ってもらったお金で、材料費や光熱水費のやりくりができるかの計算も必要になります。

また、利便性を考えると、少なくとも煤ヶ谷地区と宮ヶ瀬地区に作る必要がありますし、空き家を食堂とし



て使うための改修費用などが必要になると思います。

子ども食堂広場をつくり、食事をしたり、遊んだりといった子ども世代の交流の場をつくりたいという皆さんの提案は、村の宝であるきよかわっ子の健やかな成長のために、とても素晴らしいと思いますので、これからも課題を整理し、どのような形であれば実現が可能であるのか、検討をしていきたいと思っています。

4班

清川村の魅力を活かした
アスレチック

Q 森林を利用したアスレチック×イルミネーションを造りたい

A 村を訪れる観光客の数は、令和5年中の1年間で約235万人となっていて、この数は、神奈川県内33市町村のうち13番目に多い人数となっています。県内には、有名な観光地が多いほか、近年は外国人観光客に対する魅力度も高く、多くの観光客が訪れています。このような中、森林を利用したアスレチックやイルミネーションの整備については、観光客を村に誘致するためのとても良い提案だと思っています。

空中アスレチックは、国内では、専用の安全ハーネスを装着して、森の木から木へ空中移動していくフラッシュ発祥のアウトドアパークが主流で、木の上の上がり、ジップラインなどの方

法で空中を渡るといって、緊張感と爽快感が味わえるアドベンチャースポーツです。

子どもから大人まで、世代を超えて自然や森林と触れ合うことができる空中アスレチックは、村の魅力を創り出すだけでなく、自然環境の大切さを触れ合いながら学ぶ、環境学習にもつながる良い提案だと思っています。

イルミネーションについては、村では「宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい」というイルミネーションイベントを宮ヶ瀬水の郷地域の皆さんと協働で、毎年11月末から12月25日までの約1か月間に渡り実施しています。このクリスマスイベントは昭和61年から開催していて、昨年で38回目となり、国内でも歴史あるイルミネーションイベントの一つとなっています。

森林を活用したイルミネ

ーションは、新たな魅力を創り出す良い提案ですが、大きな予算も必要となるので、宮ヶ瀬クリスマスのように、村が地元の皆さんと連携して運営することが良いのか、新たな企業などと連携して取り組むことが良いのか、さまざまな手法があるので、空中アスレチックと併せて検討したいと考えています。

皆さんからのご提案は、村の大きな資源でもある自然環境を活し、村の知名度の向上や、何度も村に来たいと思える村のファンを増やすことにつながる提案ですので、今後、しっかりと検討し取り組んでいきたいと考えています。



5班

宮ヶ瀬湖畔園地けやき広場を
もっと魅力のある場所に

Q 宮ヶ瀬湖畔園地に清川村の木材を使用したアスレチック遊具を造り、周辺にベンチなどを設置して、お年寄りの方や妊婦の方にも楽しんでもらいたい。

A 村は、総面積の約90%が森林で、県内の市町村の中で4番目に広い森林面積となっていますが、全域が丹沢大山国定公園と県立丹沢大山自然公園に指定されていて、大規模な商業施設や工場を整備することは非常に難しい地域です。しかし、首都圏域のオアシス的な地域として、神奈川県民の大切な飲料水の水がめである、宮ヶ瀬湖を有することからも、豊かな自然環境を守っていく使命を担っています。間伐材を活用して、皆さんのご提案である、木製アスレチックやベンチを造ることは、観光客の皆さんに向けた新たなアトラクションとなり、季節に合わせて装飾やライトアップをすることで、宮ヶ瀬湖畔園地の魅力を創り出すことにつながるほか、森林の活用を通じて、村の豊かな自然環境を守ることの大切さを伝えていくことにもつながります。このような取り組みにより、子どもから高齢者、妊婦の方など世代を超えて、自然環境の大切さを触れ合いながら学ぶ、環境学習の機会になることでも考えられる良い提案ですので、今後、検討し取り組んでいきたいと考えています。





緑小学校船津校長より

皆さんの提案は、環境を活かしたビジネスや、環境と共存した生活を意識したもので、とてもよく考えられており「立派」「頼もしい」と感じた。これからも自ら課題を見つけ、解決策を考える探求心を養ってほしい。



山田教育長講評

身の回りの出来事や地域のことに関心を持って、自らタブレット端末などを活用して調べており、論理的な思考が育っていると感じた。皆さんからいただいた貴重な意見を参考に、引き続きより良い村づくりに取り組んでいく。



子ども議会に出席した児童たちからコメントをいただきました！

これからの自分の将来に向けて、やはりこのような経験は少しでも積んでおいた方がいいんだなと思った。

議会をする場所は、自分の思いを伝える大事な場所だということがわかった。自分の案を出し、みんなで話し合うのも人生の大切なことだということが分かった。今回の子ども議会でもよい経験ができたと思います。これから、授業やいろいろなことに積極的に案を出したり、参加しようと思った。

ぼくがこの学習を通して気付いたことは協力するということの大切さです。一人では成功することのできないことをグループの仲間と一緒に協力して、今回の発表を成功させることができました。

こんな機会、これからはないと思うので、この子ども議会をこれからの人生にいかしていきたいです。

今日行った子ども議会は今からつながると思いました。これから中学生・高校生・大学生・社会人になっても、人に伝わるように話すプレゼンをするとはとても大切だと思いました。なので、今日の子ども議会で体験したプレゼンを、忘れずに生活しようと思いました。

子ども議会は学校で行うようなものと全然違うかなと思いました。なぜかというと、子ども議会は村長さんやいろいろな人に見られるから、緊張感が全然違うと思ったからです。